

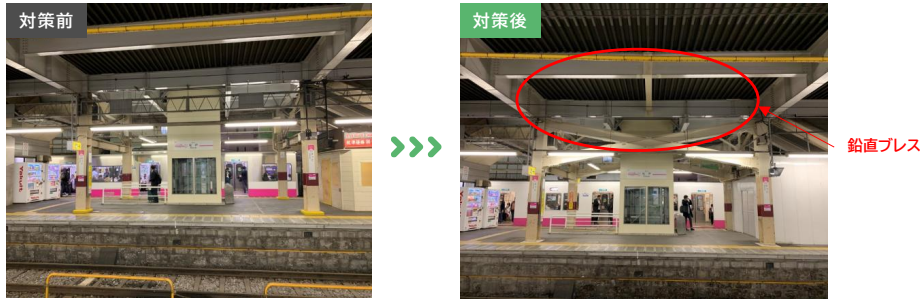
# 大規模地震による駅、高架橋等の倒壊、損傷対策【国土交通省】

- 施策概要** 大規模地震による駅、高架橋等の倒壊・損傷を防止するため、利用者が多い線区等を対象に、駅、高架橋等の柱、基礎等の耐震補強を実施
- 効果** 地震による人的被害、物的被害を防止するとともに、鉄道の安全・安定輸送に寄与

## 全国的な対策と効果

駅・高架橋等の耐震補強の実施(令和5年度末時点で対策箇所99%で対策完了)

駅の鉛直プレスによる補強



駅の耐震性が向上し、地震による損傷を防止

橋脚の一面せん断補強



橋脚の耐震性が向上し、地震による損傷を防止

▶ 首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模地震においても、鉄道利用者の安全を確保

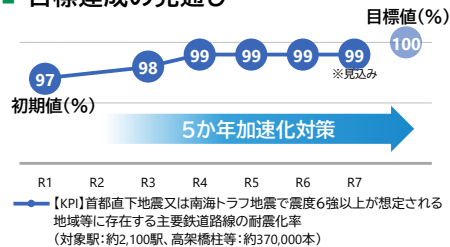
※本施策の対象施設は、首都直下地震・南海トラフ地震で震度6強以上が想定される地域等において、利用者が多い線区等の駅、高架橋等。

## ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
23億円	6億円	21億円
R6	R7	累計
13億円	4億円	68億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

## ■ 目標達成の見通し

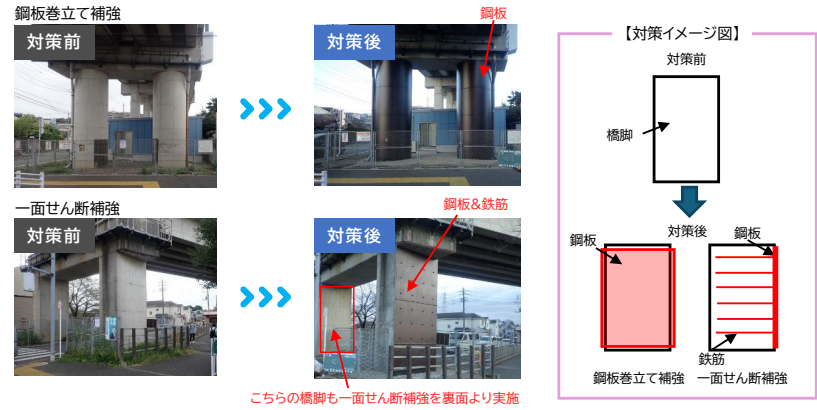


## 整備事例

# 橋梁の耐震対策により、鉄道の安全・安定輸送を確保する

- 京王電鉄株式会社
- 東京都町田市
- 鉄道施設総合安全対策事業(耐震対策)

## ■ 橋脚の補強工事



## ■ 事業費

0.72億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.72億円)

## ■ 事業の背景(地域の課題)

本橋梁が位置する相模原線多摩塚駅～橋本駅間は上下線合わせ1日平均約8万人が利用する区間であり、京王電鉄における主要路線のひとつです。橋本駅では南口でリニア中央新幹線の神奈川県駅(仮称)が現在建設中であり、周辺エリアのまちづくりも計画されていることから、今後交通の要衝として重要性がより大きくなることが見込まれています。また、橋脚のせん断耐力が低い本橋梁は緊急輸送道路を跨いでいることから、大規模地震時に橋梁が大きく損傷すると、道路機能へ影響を与えることが懸念されていました。



## ■ 事業の内容

阪神・淡路大震災のような大規模地震の発生時に不足する橋脚のせん断耐力を補うため、令和4年度内に、橋脚4本(鋼板巻立て補強2本、一面せん断補強2本)に対し、L2地震動に耐えられるよう耐震補強を実施しました。

## ■ 見込まれる効果

耐震補強により首都直下地震や南海トラフ地震といった大規模地震時における、橋梁の損傷レベルを最小限に食い止め、鉄道としての機能維持が可能になることが期待されます。また、大規模地震時の橋梁の損傷を抑えることで、高架下に位置する緊急輸送道路の機能確保にも寄与します。

(1)	1	人命・財産の被害最小化	激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
(2)	2	交通・ライフラインの維持	インフラの老朽化対策
(1)	3	施策のデジタル化	国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進
(2)		災害関連情報の高度化	